

小野市議会だより

2022.11
No.204

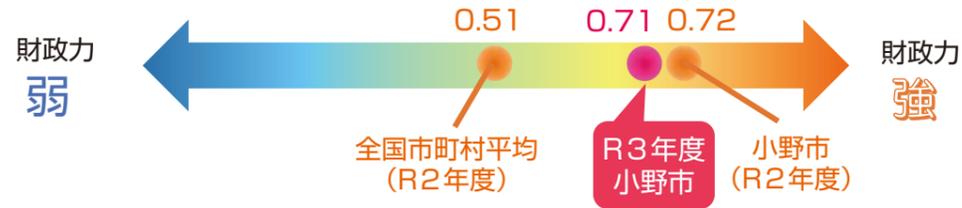
マイナンバーカード取得で
おの恋らっきやらっきや券!!



財政関係指標で見る小野市の状況

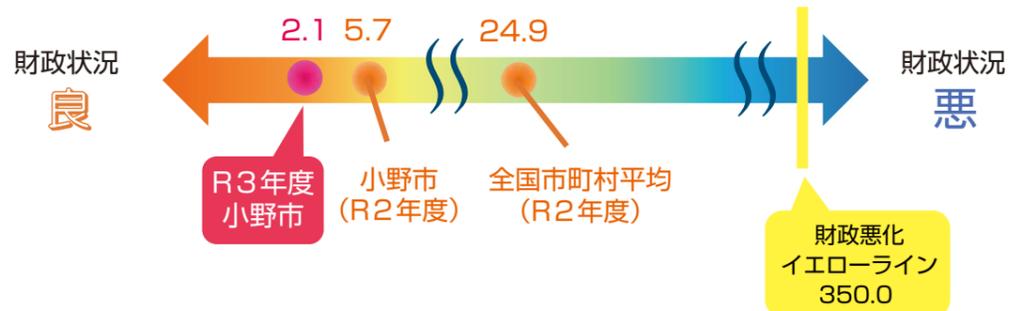
財政力指数

地方公共団体の財政力を表す指数。
数値が高いほど、自主財源の割合が高く、財政状況に余裕があることを示している。



将来負担比率

地方公共団体の収入に対する、借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の割合。今後の財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標。この数値が低いほど、財政状況が良好であることを示している。



貯金もたくさんあって将来の負担も少ないようだし、財政状況に心配はないようだけど…?



◎健全財政の堅持は重要!!
しかし・・・

市の財政の7割程度は税金[※]でまかなっている。

積極的な施策や投資で市民への還元も重要。

★健全財政と市民への還元を両立するには
投資と収入のバランスが重要



税が有効に循環する施策を!

なるほど!

※市税のほか、国や県からの交付金も私たちが納める税が主な財源であるため

令和3年度 決算 認定

9月定例会に提出された決算に係る議案を予算決算常任委員会に付託し、審査を行いました。市が目的に沿って予算を適切に執行したかを審査する重要な機会です。

一般会計、特別会計及び企業会計の決算について、2日間にわたる慎重な審査の結果、全会一致で認定しました。

歳出決算総額 376億円!!
(一般会計、特別会計、企業会計の総額)

一般会計収支決算の状況

歳入	233億4,329万円
歳出	222億3,770万円
差引	11億 559万円
翌年度繰越財源	3億2,001万円
実質収支	7億8,558万円



基金残高 **85億2千万円**



市債残高 **215億2千万円**
(後から国が補てんする分を除くと)
約**76億円**



翌年の繰越事業に必要な財源を差し引いた**実質収支**は前年度の**2倍**、**基金残高**も前年度より**1.6億円増**と健全財政を堅持できている。
今後も良好な財政状況を保ちつつ、より**有効な事業展開**を期待する。

【特別会計・企業会計収支決算の状況】

会計		歳入	歳出	差引	
特別会計	国民健康保険	53億6,639万円	52億3,324万円	1億3,315万円	
	介護保険	42億9,671万円	41億7,779万円	1億1,892万円	
	後期高齢者医療	6億8,920万円	6億7,124万円	1,796万円	
企業会計	都市開発事業	収益的収支	1,139万円	933万円	206万円
		資本的収支	2,020万円	2,062万円	△42万円
	水道事業	収益的収支 [※]	13億5,251万円	10億9,303万円	2億5,948万円
		資本的収支	5億 373万円	8億7,769万円	△3億7,396万円
	下水道事業	収益的収支 [※]	16億3,654万円	14億8,426万円	1億5,228万円
		資本的収支	12億3,540万円	18億1,827万円	△5億8,287万円

※水道事業、下水道事業の収益的収支は税抜き表示 ②

提出議案と審議結果

★全会一致で可決した議案

区分	議案番号	議案名
補正予算	第38号	令和4年度小野市一般会計補正予算（第4号）

議案の概要

一般会計補正予算（議案第38号）
第2弾！
おの恋らっきやらっきや券
コロナ禍でまだまだ大変な中、『元気な小野市』が戻るようみんなが地域経済を盛り上げていくために、マイナンバーカードを取得した市民を対象に、第2弾「おの恋らっきや券」を配布し、物価高騰の影響を受ける市民生活の支援、地域経済の活性化及びマイナンバーカードの取得促進を図ります。

- ★対象者
令和4年12月1日時点でマイナンバーカードを取得している市民（既に取得済みの方を含む）
- ★配布額
1人あたり5,000円（1,000円券×5枚）
- ★利用期間
配布日から令和5年2月末まで
- ★利用可能店舗
「おの恋プレミアム商品券」共通券と同じ店舗で利用可能

第438回

8月
臨時会

会議期間1日間
(8月19日)

市長提出議案…1件（補正予算1件）

市議会の目



ひまわりの丘公園整備事業、育苗施設整備状況及びガーデニングボランティアの待遇は？

ガーデニングのまちづくり拠点として屋根型温室3棟、作業棚の整備、外構工事等を行った。令和4年6月に整備を完了し、使用を開始している。また、ボランティアの方々には、1年間の活動に対する謝礼としてゆびか入浴券を進呈し、活動にご尽力いただいている。

小野市のまちの彩りは、市民力の高さの表れ！



有害鳥獣対策経費の効果は？

イノシシやアライグマの捕獲数は令和元年度実績に比べ倍増している。国の交付金を活用しながら3年間で約12,000mの柵を設置、定期的な見回り等も行っている。しかし、農業被害額はほぼ横ばいで推移しており、明確な被害低減効果が確認できるには至っていない。



有害鳥獣による被害は、農業に携わる者にとって深刻な問題。地元からの要望に応えられる予算確保を！

障がい者施設等整備事業補助金を交付した2施設の運営状況は？

わかあゆ園を脱退するにあたり、市内に新たな児童発達支援施設を開設する2事業所に補助金を交付した。2施設ともに定員以上の利用登録があり、運営は順調である。

今後の施設運営状況にも注目したい。

道路区画線等安全対策事業経費、白線更新の成果・進捗などは？

道路を中心に、公園や公共施設駐車場等の区画線設置を行い、市道37箇所、公園駐車場等13箇所総延長43kmを実施した。業者発注に比べて即時性が高く、利用者の安全確保を早期に可能とした。

引き続き早期の安全確保対策を！

ふるさと納税額増加の要因と今後の取り組みは？

増加の主な要因は、地域活性化支援事業として返礼品も地場産品と捉え観光PRと一体的にPR事業を展開したことや、新規返礼品の開発や既存品の改良等に取り組んだため。今後も引き続きブラッシュアップを重ねていく。



さらなるプロモーションの展開に期待！

兵庫県市議会議長会表彰

第269回兵庫県市議会議長会総会において、兵庫県市議会議長会副会長を務められた川名善三議員と小野市議会副議長職を2年以上務められた河島三奈議員に感謝状が贈られました。



川名善三議員 河島三奈議員



提出議案と審議結果



★全会一致で認定・可決した議案

区分	議案番号	議案名
決算	第39号	令和3年度小野市歳入歳出決算の認定について
	第40号	令和3年度小野市都市開発事業会計決算の認定について
	第41号	令和3年度小野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
	第42号	令和3年度小野市下水道事業会計決算の認定について
補正予算	第43号	令和4年度小野市一般会計補正予算（第5号）
	第44号	令和4年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	第45号	令和4年度小野市介護保険特別会計補正予算（第1号）
	第46号	令和4年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	第47号	令和4年度小野市水道事業会計補正予算（第1号）
	第48号	令和4年度小野市下水道事業会計補正予算（第1号）
	第53号	令和4年度小野市一般会計補正予算（第6号）
条例	第49号	小野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	第50号	小野市議会議員及び小野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
契約	第51号	新都市南北線北工区道路新設工事請負契約について
その他	第52号	損害賠償の額の決定及び和解について



現況写真

審議議案の中から PICK UP!!

一般会計補正予算第6号(議案第53号)
価格高騰に対する緊急支援を実施
 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり5万円を支給する。

★支給対象者
 ①世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯。※住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。
 ②①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯(家計急変世帯)

★支給金額 1世帯あたり5万円
★支給時期 令和4年11月以降

一般会計補正予算第5号(議案第43号)
保育士等への継続した処遇改善を実施
 令和4年2月から実施している保育士等を対象とした3%（月額9,000円）程度の処遇改善を令和4年10月以降も継続して行う。

★対象施設
 市内保育所9施設、認定こども園5園の合計14施設

第439回
9月
定例会

会議期間**32日間**
 (8月30日～9月30日)

9月定例会
 議案審議

一般質問

一般質問

一般質問

視察報告

5回目のワクチン接種を開始
 オミクロン株に対応した新型コロナウイルスの接種を円滑に実施できるよう接種体制を確保し、市民の安全安心を守ります。

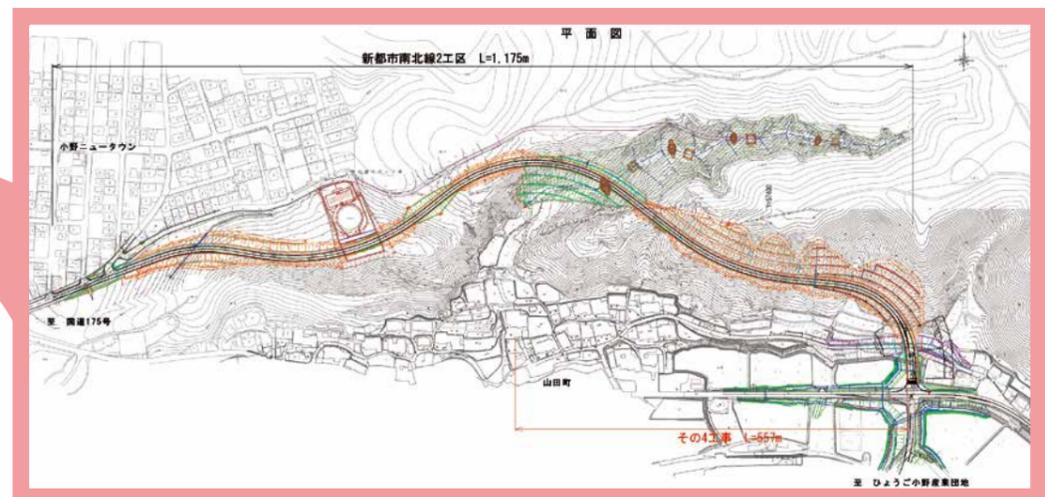


新都市南北線北工区 道路新設工事請負契約

新都市南北線北工区道路の新設工事を行うため、工事請負契約を締結。

【契約内容】
★工事名 新都市南北線北工区道路新設工事
★契約額 2億3,243万円
★相手方 赤穂市東浜町61番地
 株式会社 森崎組
 代表取締役 森崎 祐輔

(その4)



工事計画平面図

市長提出議案：**15件**

(決算認定4件・補正予算7件・
 条例改正2件・契約1件・その他1件)

8月臨時議会
 議案審議

9月定例会
 議案審議

一般質問

一般質問

常任委員会審査

視察報告

ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に
関わることについて、
9人の議員が
一般質問を行いました。
(一般質問は発言した議員が編集しました)



- 一般質問とは……
市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。
- 質問テーマは？
1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。
- 質問の制限時間は？
1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。



川名善三議員（公明党）



自己負担金立替払いの改善を

答弁 家庭事情等によらず利用できる方策を検討

質問 市内学校園の児童生徒は、その管理下での傷害や疾病等に対応するため、「独法」日本スポーツ振興センターの災害共済制度に加入している。市では、福祉医療制度により、高校3年生までの医療費の無料化が図られているが、その他の福祉医療制度と災害共済制度との関係性について

答弁 自助又は互助・共助を優先する考えから、センターの共済制度を優先し、福祉医療制度との併給を認めていない。
(市当局)

質問 市の医療費無料化制度では、医療費の自己負担金が無料化されている一方で、スポーツ振興センター共済制度では、自己負担金を支払った後、共済給付金が後日給付されることから一時的にその金額を立て替えていく。

答弁 真の医療費無料化が感じられるよう、共済加入掛金の保護者負担の見直しや、医療費の自己負担金についても、市が一時的に立て替えるなど、具体的な方策を検討したい。
(市長)

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

小林千津子議員（市民クラブ）



市長選挙について

答弁 引き続き市政を担当させていただきたい

質問 任期満了に伴う市長選挙に、7選目を目指し立候補の意向を固められたと報じられている。6期24年間の実績について、ご自身の評価を伺う。

の成果を踏まえ、今一度原点に立ち返り、元気で「躍動するまち・持続可能なまちおの」の実現へ向け、情熱と実行力、熱意と創意と誠意という「3つの意」をもって必ずやもともと小野市を変えたいという決意で、引き続き市政を担当させていただきたい。多選に対する批判的な意見もあるが、24年間の実績をみていただきたい。
(市長)

答弁 「変えよう小野、変わろう小野市」のスローガンを掲げ就任して24年、小野市を変えて見せるとの思いでやってきた。他市並みに都市基盤も整いつつあり、小野市も市の行政も変わってきたと自負している。「変わろう小野市」という市民意識も大きく変わり、市民力が大きく高まったことが一番の成果。皆様と共に変革に向け歩んできた24年間であったと深く感謝している。(市長)



市長答弁中

質問 人口減少と少子高齢化、地域が抱える課題の中、「未来に飛躍する小野市」へのチャレンジについて

答弁 「政治とは、無限の理想への挑戦」である。これまでの行政経営

松永美由紀議員（市民クラブ）



新型コロナウイルス感染拡大防止

答弁 市民の高い予防意識が保てるよう尽力する

質問 現在も流行が続いている新型コロナウイルスに対するワクチン接種が伸び悩んでいる。今後の感染予防に向けた市民への啓発について伺う。

答弁 オミクロン株対応の追加接種は、9月に開始しており、詳細等については、あらゆるメディアを活用し、市民へ周知する。また、感染拡大を防ぐ手立てとしてワクチン接種を推進しつつ、市民、地域、行政が三位一体となり、感染予防の基本を継続していく。
(市当局)

マイナンバーカードの取得促進について

答弁 市は9月を「マイナンバーカード取得促進強化月間」とし、自治会や企業との協働等、オール小野市で取り組みを行っている。マイナンバーカードの普及と利用をセットで考え、デジタル社会の進展、及びそ



マイナンバーカードセンター

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

河島 信行 議員（無党派）



QRコード



学校における公用車の配置について

答弁 学校公用車の導入は考えていない

質問 各学校における公用車の使用頻度や所要台数、家庭訪問などの同時性など学校特有の使用形態に加え、費用対効果を考慮し、教員個人の自家用車を公用車として活用している。実費弁償的に支給している車賃は、出張時の通算距離に基づき、原則キロ当たり37円の単価で支給している。また、学校行事などで貨物車が必要な場合は、市所有の貨物車を貸し出している。
（市当局）

「ヤング議会」の開設について

答弁 若者のみ対象とする議会を開設する予定はない。若者たちの自発性を尊重し、自らをもって考えることが重要である。
（市当局）

地場産業そろばんの支援について

答弁 平成30年、播州算盤工芸品協同組合から、そろばんの製造と販売、飲食などの観光要素を含めたそろばん工房館の建設について、基本構想の提案があり協議した。市は、分業体制の見直しや職人の集約、材料調達・生産・販売の一元管理する一貫工房を必須条件に議論したが、今まで通り家内事業所形態での継続の申し出があり、実現には至らなかった。

そろばんの伝統的工芸品としての価値を後世に残していくため、そろばん職人の後継者育成経費の一部や起業経費の一部の助成制度は、引き続き継続する。
（市当局）

平田 真実 議員（無党派）



QRコード



スケボーの公園利用を

答弁 スケボー専用場の整備は慎重に検証

質問 公園でスケボーができるよう、区分占有等できないか。また、スケボーをしたいという声にはどう耳を傾けるか、市長の姿勢を伺う。

答弁 スケボーができるアスファルトやコンクリートの場所は、駐車場や通路となるため、公園利用者の安全を考慮すると禁止せざるを得ない。現時点でトラブルもあり共存は難しいが、他市等の状況を検証するとともに、ニーズ等を把握しながら検討していく。
（市当局）



マナーを守って安全に

答弁 浄谷黒川丘陵地でスポーツ振興を図っていききたいが、スケボー等については需要や費用対効果を鑑み

藤原 章 議員（日本共産党）



QRコード



輸入飼料が暴騰 畜産農家支援を

答弁 実状を調査し、今後の動向を注視していく

質問 今、畜産農家は、電気代や燃料費の高騰に加え、輸入の配合飼料や牧草の暴騰で危機に陥っている。緊急に支援する考えはないか。

体的支援と考えており、保育料無料化は考えていない。
（市当局）

子育て支援の充実を

質問 少子化が進む中、コロナ禍で生活が不安定な家庭も多く、子どもを安心して産み、育てられる環境が必要だ。保育料の無料化と学校給食の無償化を実施する考えはないか尋ねる。

答弁 当面の物価高騰に対しては、補正予算で対応し、保護者の負担を軽減している。生活困窮世帯に対しては、就学援助制度で対応している。それらの点を総合的に踏まえ、今後の情勢を注視しつつ、継続的研究課題としていく。
（市当局）

保育料無料化

答弁 国の施策で3歳から5歳児は無償化されている。0歳から2歳児は国基準の30%軽減を実施している。今後必要になるのは心理的、身



給食おいしいね

久後 淳司 議員（無党派）



QRコード



市長・市議会選挙の同日実施を

答弁 市長不在による影響を懸念し実施しない

質問 小野市長と市議会議員選挙を同日開催にすれば、市民の方々の投票は一度で済み投票率の向上が期待できる。また、市としての財政支出も削減でき、携わる方々の事務負担軽減につながるなど数多くのメリットがあるため、選挙日を同日にする検討ができないか。

質問 男性にもHPVワクチンの必要性が高く、正確な情報を知っておくことが重要だと考える。新たな施策や周知について展開できないか。

答弁 市民の安全確保が絶対条件であり、接種については国がしっかりと示すべき。ただし、周知と勧奨には努めていく。
（市長）

空き家等の対策について

質問 危険性の高い空き家等の周辺住民の方々への配慮や周知は。

答弁 住民同士での話し合いが基本だが、通報があった場合は、担当職員が現場を確認・調査し早期に所有者へ状況改善を要請し、情報提供者にも報告する。
（市当局）



そうだ選挙、いこう。

河島 泉議員（無党派）



ひまわりの丘公園整備について

答弁 遊具広場の披露は今年のクリスマスを予定

質問 関西最大級の遊具広場について、現在の進捗状況は。
答弁 ひまわりの形をモチーフにしたメインの大型遊具の他、幼児用遊具エリア、乳幼児用遊具エリアを配置。また、障がいのある子どもも、そうでない子どもも楽しく遊べるインクルーシブ遊具のアイテムも揃えている。設計や部材加工を終え、9月下旬から現地工事を開始している。（市当局）



リニューアル ひまわりの丘公園

質問 おのアクティブポイント達成者は60〜80歳代がほとんどを占め、世代間の不公平感が感じられるようだが、ポイント対象事業の対象分野、対象年齢を若い世代まで広げられないか。
答弁 高齢者の健康増進を目的とした事業であり、対象年齢を引き下げの考えはない。なお、ボランティアはポイントがあるから行うものではない。（市長）
質問 今後、ますます高齢化が進む中、情報格差解消の具体的計画は。
答弁 情報格差の解消につながる支援については、国の動向を伺いながら、今後の計画を検討する。なお、市では、「やさしいデジタル」を基本的な理念としており、行政サービスにおいてアナログとデジタル、利用者が選択できる方向で考えている。（市当局）

常任委員会審査報告

9月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

≪予算決算常任委員会≫（令和3年度決算はP2〜4をご覧ください。）

9月16日、20日、30日開催
付託議案数：11件（議案第39号～第48号、第53号）
審査結果：反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきものと決定。
●主な審査内容
議案第43号 令和4年度小野市一般会計補正予算（第5号）について

≪総務文教常任委員会≫

9月26日開催
付託議案数：3件（議案第49号・第50号・第52号）
審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。
●主な審査内容
議案第49号 小野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

≪民生地域常任委員会≫

9月26日開催
付託議案数：1件（議案第51号）
審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。
●主な審査内容
議案第51号 新都市南北線北工区道路新設工事請負契約について



議会と市民との懇話会

一般質問をする日の休憩中に、傍聴に来られた方が議会での一般質問や市政全般について質問することができ、市当局や議員がその場で答える懇話会を実施しています。傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非とも議場にお越しください。



- 懇話会での意見**
- つみたてNISAを活用した奨学制度について
 - ひまわりの丘公園大型複合遊具整備業者選定に係る女性職員の参加について
 - オミクロン株対応コロナワクチン接種対象者についてなど

夜勤のない女性救急隊員の採用を！

答弁 性別や勤務を限定した採用は考えていない

質問 コロナ禍における消防隊員の働き方について
答弁 コロナ感染症対策として、職員間の感染防止、リスクの分散化、勤務間隔をあけることによる負担軽減を図っている。また、職員間の感染により業務が停滞しないよう、消防隊の運用を2部体制から人員を固定化できる3部体制にシフトを変え、業務を継続している。（市当局）
質問 昼間の緊急出場件数は夜間の約1.5倍。多様な働き方改革として、日勤だけの女性救命士を募集・採用し、救急車へ配置してはどうか。女性患者への配慮や対応、また、消防士を目指す女性への仕掛けづくりにもなるのでは。
答弁 命を守る使命を果たせるのなら採用する枠は男女関係ない。また、消防職員は男性、女性に関

わらず、救助者に対する合理的な配慮が必要である。（市長）
質問 一般会計補正予算（第5号）・新型コロナウイルス接種体制確保事業経費3,000万円の具体的内容について
答弁 オミクロン株に対応した新たなBA5対応型ワクチンの接種や5〜11歳の3回目接種に対応する予算である。具体的にはコールセンターや予約システムの再編、接種券の作成、接種履歴の管理など、ワクチン接種の準備と事後処理に係る費用である。なお、今回の補正で、別途ワクチン接種事業経費として、7,000万円計上しており、合わせて1億円でワクチン接種を進めている。（市当局）

高坂純子議員（無党派）



民生地域常任委員会視察報告

令和4年8月8日(月)～令和4年8月10日(水)

★妊娠・出産・子育てトータルケアについて(東京都中野区)

「すこやか福祉センター」を核に、妊娠から出産、子育てまでの個々のニーズに応じた切れ目ない支援を

妊娠、出産、1歳までの子育てについて、介護保険の地域包括ケアを思い起こさせる大変デジタル化されたシステムが構築されていると感じた。介護事業で行われる「ケアプランの作成」に代わる事業として、妊産期相談支援事業を案内しながら、当人に必要な事業の検討を行い、事情の変化を見据えながら事業を継続実施している。

支援事業の大半は民間業者への委託で、利用者は費用の一部を事業者を支払い、不足分を行政が支払う。

事業の実施には妊婦、子育て家庭を支援する人材の育成が不可欠で、大都市圏ならば需要の大小に関わらず、一定数の人材育成は可能と考えるが、小野市においては、必要とするニーズの絶対数を把握しておかないと、人材が余剰する懸念もある。



★アクティブシニアについて(石川県金沢市)

年齢区分で人々のライフステージを区切るのではなく、
個々の意欲や能力に応じて活躍できる生涯現役社会へ

アクティブシニア活躍支援事業は、65歳以上の高齢者に対して、就労、ボランティア、趣味、スポーツへの参加情報をワンストップで紹介し、マッチングまで完結させようとする施策。ワンストップ、マッチングは素晴らしいが、開催日が限られるのが残念。

マッチングを行うのは個別とした上で、ワンストップの情報発信の機会を増やした方が良いのではないかと感じた。

60代の多くはスマホを使いこなせるようになってきている。IT利用の情報発信、マッチングを考えていく時期が来ている。



★若者が住みたくなるまちの創造について(福井県鯖江市)

認知度向上 と 市民主役

- ◎「めがねのまちさばえ」を全面に押し出した認知度の向上
- ◎市民主役条例の施行
- ◎100を超える市の事業を公募、50を超える事業を市民に委託

若者の考えを尊重し、具現化することに注力していることが感慨深い。不便で堅苦しい地方で型にはまった生活を送るのではなく、便利で自由な暮らしを都会に求める若者の観念を払拭し、地方にこそ自由と創造があることを実践していくことが大事。

地域課題を考え、それに対して事業を行ってみることは、地域を挙げたインターンシップで、事業・仕事の創出に繋がる。市民を顧客ととらえる小野市にあって、若者の満足は「自ら住みたいまち」の具現化から得られるのかもしれない。

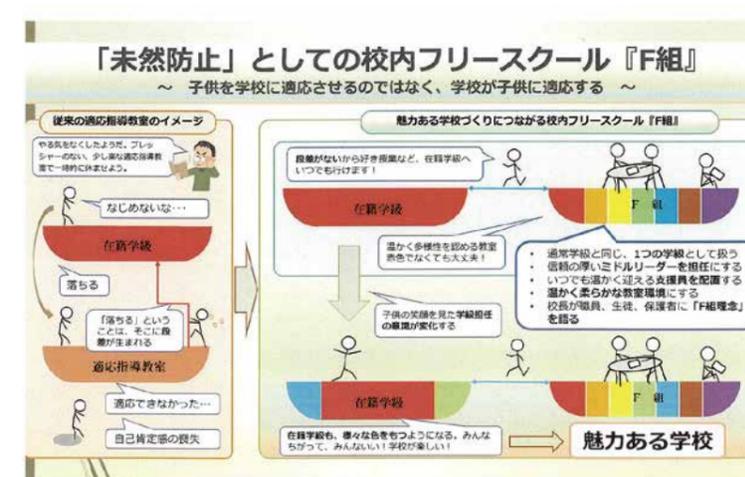


総務文教常任委員会視察報告

令和4年8月2日(火)～令和4年8月4日(木)

★校内フリースクール(F組)について(愛知県岡崎市)

長期欠席者や集団になじめない子に個別の学びの場を保障し、多様な教育機会を確保する



全国的にも不登校児童・生徒が増加している中、不登校を最大の課題と捉え重点的に取り組んでいる。在籍学級と並列関係という位置づけで多様性を認める「F組」を中学校に設置し、校外にある適応指導教室、在籍学級と併用できるようにしたことで、「居場所」の選択肢を拡げ、不登校の未然防止に繋がっている。教師側からは、メリットが大きいという意見が多く、設置していない中学校の保護者から設置要望が寄せられている。独自設置に向けて動き始めている小学校もあり、小野市においても決して減っていない不登校対策として有効ではないかと考える。

★総合型地域スポーツクラブについて(愛知県半田市)

全国的に課題となっている少子化と教員の働き方改革に鑑み、
中学校の部活動を地域に戻していくことを目的としたスポーツクラブ

クラブ設立を機に成岩中学校では、学校での部活動を平日週3回に限定し、土・日の部活動はソシオ成岩で行うこととした。これは現在の部活動問題を見越した先駆的な取り組みであったが、様々な課題から学校での土・日の部活動を再開し、いったん地域移行は後退することとなった。今後、再度早期の地域移行を実現させるために取り組まれるとのことで、その取り組みにも注目したい。

公立中学校の部活動については、スポーツ庁の有識者会議が令和5年度から令和7年度末までの3年間を目途に段階的に地域移行することを提言しており、小野市においても早期に方策を検討する必要がある。



★バイオエネルギーセンターについて(東京都町田市)

生ゴミのバイオガス化施設とゴミ焼却施設を一体的に整備した首都圏初の施設

「ゴミになるものを作らない・燃やさない・埋め立てない」を基本理念として、徹底したゴミの減量、資源化を進め、持続可能で環境負荷の少ない都市を目指している。環境・廃棄物対策に関するキーワードである3R(Reduce:減らす、Reuse:繰り返し使う、Recycle:再資源化する)がピタリとはまる最先端の施設であった。施設を建設するにあたって、用地を含めた地元とのコンセンサスが不可欠であるが、もともとあった施設の建て替えであったこと、新たに取得した用地が公団の所有地であったことなどが、地元との協議を比較的円滑に進められた要因であると考えられる。

小野市とは規模が違うが、新ごみ処理施設の建設に向けた協議の中において、参考にすべき施設の一つであると考ええる。



議会を傍聴しませんか

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、傍聴をご遠慮いただく場合がありますのでご了承ください。

☆ 12月定例会日程 ☆

- | | |
|-----------|----------|
| 11月28日(月) | 午前10時～ |
| 本会議(第1日) | 議案説明 |
| 12月13日(火) | 午前10時～ |
| 本会議(第2日) | 一般質問実施 |
| 12月14日(水) | 午前10時～ |
| 本会議(第3日) | 一般質問実施 |
| 12月26日(月) | 午後1時30分～ |
| 本会議(第4日) | 議案の採決など |

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★12月定例会で一般質問する項目・内容については、12月上旬に市議会ホームページに掲載します。

「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。希望日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



傍聴に行けなくても YouTubeで議会中継



マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報誌が届きます!



傍聴席から見た議場

小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。市役所6階 議会事務局までお越しください。

議会と市民との懇話会

一般質問が行われる日の本会議休憩中に、傍聴者からご意見をいただく機会を設けます。展開される議論にご注目ください。一般質問は12月13日(火)、14日(水)に行われます。

「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる12月13日(火)、14日(水)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。12月5日(月)までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



議会傍聴者数

9月定例会55名
(令和4年度累計118名)

＜お申し込み先＞ 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108
E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

あとがき

今回は決算認定の号になります。コロナ禍の影響を受け、予算決算常任委員会は事前通告の形をとり、開催いたしました。令和3年度決算は、7億8千万円の黒字となり財政は健全な値を堅持していますが、次に議会としてはこの黒字をどう市民に還元できるかという議論になるでしょう。イザという時のために貯めておくことも必要ですが、積極的に「投資」をし、「市民サービス」として還元することも重要です。また単に「安価」なものを求めるのではなく、内容を吟味し「購買力」を上げることでの市の発展の一助になると考えます。議会は、これからも大局的視点から予算・決算を分析し「市民の利益」を第一に「行政の監視」をしてまいります。

(市議会報編集委員)

河島三奈

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。